

卒業研究交流セッションのご案内

日本看護技術学会では、若手研究者の育成と交流、研究活動の推進を目指して、学術集会時に卒業研究交流セッションを開催しております。卒業研究に熱心に取り組み、「興味深い結果が得られた!」「わかりやすい論文を完成させた!」と思う方は、是非、卒業研究交流セッションに申し込み、ご発表ください。また、発表された卒業研究交流セッション演題のなかで最も優れた演題には、本会より卒業研究交流セッション最優秀賞を授与いたします。

第20回学術集会（2022年11月6日）の卒業研究交流セッションでは、12演題の発表がありました。オンラインでのセッションでしたが、事前録画の発表のち、リアルタイムで活発な質疑応答があり、取り組まれた卒業研究を深める時間となりました。今回の経験を今後の研究、実践に活かしていただけることを期待しております。第21回学術集会は対面開催の予定ですので、一般演題（口演）発表7分、質疑応答3分の準備をお願いします。

最優秀賞に選出された演題は、次回学術集会で表彰させていただきます。



【19回学術集会での卒業研究交流セッションの様子】 【第20回学術集会で表彰された方の記念写真】

【発表資格条件】

発表者は、日本看護技術学会学術集会の開催の前年3月または同じ年の3月に専門学校、短期大学、大学を卒業した者であり、卒業研究として取り組んだ研究を発表することができます。

発表者は学会員である必要はありません。卒業研究は、所属の学校にて倫理審査の承認が得られていることが望ましいです。学会都合により、当該年度に予定された学術集会が開催されなかった場合、発表を予定していた方は、翌年開催の学術集会での発表が可能です。

【申し込み要領】

日本看護技術学会の学術集会のホームページの演題登録「卒業研究交流セッション」から申し込んでください。

発表者が学会員でない場合は、学会員である指導教員との連名で申し込んでください。発表者は筆頭に、指導教員は発表者の最後に氏名を載せてください。発表の申し込み人数の制限を設けませんが、当該卒業研究を行った卒業生のみとしてください。発表者は非会員としての学術集会参加費をお支払いいただきます。

発表者が学会員である場合は単独で発表を申し込むことができます。その場合は、卒業研究で

あることを後ほど確認させていただきます。なお、学会員である場合は、卒業研究であっても一般演題にて発表することができます。

【発表者の発表要領】

発表は口頭発表とし、1演題10分(発表7分、質疑応答3分)とします。筆頭者が発表を行ってください。やむを得ない理由により発表者を交代する場合は、事前に座長に申し入れてください。その場合は、最優秀賞の選考の対象外になります。

【最優秀賞の選出と結果の公表について】

卒業研究交流セッションにて発表した演題を採点し、最も点数が高かった演題を卒業研究交流セッション最優秀賞として選出します。

採点基準は、a 内容の新規性、b 研究の完成度、c 発表の分かりやすさ(時間・話し方)、d 質疑応答時の明確さ、の4項目です。

選出された演題は、本会のホームページ、ニュースレターにて公表し、翌年の学術集会時に表彰式にて、賞状と記念品を授与いたします。是非、最優秀賞を目指してください。

研究活動推進委員会 (2023. 4. 3)